

◆2016 東京国際包装展が開催される。!

2016年10月4日(火)~7日(金)、東京ビックサイトにおいて東京国際包装展が開かれる。世界最高水準の包装の力と技をテーマに包装の最新情報が一堂に集まる。出展社数は国内500社以上、中国から78社、台湾28社その他海外から多数参加する。



◆菓子業界、売上規模 3兆 3,254 億円に !

昨今の高齢化を受けて米菓のシェア、売上げ高は伸びを示している。一方で意外にも和生菓子の伸び悩みが目立つ。また洋系の菓子ではチョコレートが堅調、スナックも順調だが、一方でビスケットやチューインガムが厳しい。チューインガムは年々シェアを縮小している。コンビニのPBによる洋生菓子も、ここ7年ほど落ち込んでいる。チョコレートは健康食品としてTVなどで取り上げられ、夏場でも溶けにくいチョコレートが開発されたため、売れ行きは好調に推移している。菓子業界はあまり景気に左右されない業種で全体的には堅調に推移している。



◆目を見張る、進化する人工知能 (AI)!④

最近、各企業から様々なAI搭載のロボットが売り出されている。人間の表情や声に反応し答えるロボットなど多種多様なロボットが出現している。生産工場のロボット化は日々進化し省力化を促進し、生産効率を格段にアップしている。1951年、手塚治虫の漫画、「鉄腕アトム」が発表された。それは現在のロボットを今から65年も前に予知したかのように描かれたもので実際にその先見性や将来を見据えた想像力や洞察力には驚嘆させられる。

◆中食・惣菜産業、将来の展望!⑥

食の外部化と食品加工業の発展・日本の農業・食関連産業の構造は2005年の食用農水産物生産は国内が9.4兆円、これに1.2兆円の輸入を加えると10.6兆円となる。これが消費者の飲食消費額では73.6兆円と約7倍になる。つまり、生産者の手を離れて消費者の手元に届くまでに、食関連事業者によって多くの付加価値形成がされていることがわかる。最終飲食消費額について1975年から2005年の変化をみると、生鮮品比率が31.5%から18.4%に大幅に低下する一方で加工食品は45.7%から53.2%に外食は22.7%から28.5%にその比率を高めてきた。この外食に中食調理食品を加えた食の外部化比率は42.7%と4割を超えた。



◆加速する温暖化!

台風の原因となるのは強い熱帯性低気圧で、1970年以降は熱帯性低気圧、台風の発生率も増加傾向にある。地球温暖化によって氷が溶けて海面上昇が続き、海面からの水分蒸発が水蒸気となり大気中にとどまり熱帯性低気圧に発達する。またエルニーニョ現象により海水温度が上昇しているため、台風は強力で巨大化する傾向にある。



◆対応の良さ日本一!
アロンに聞けば何でも判る!
親切、丁寧、スピード回答!

◆ 食品容器・包装資材・総合商社 ◆

アロン・トレーディング株式会社

本社 東京都千代田区神田佐久間町1-14 ☎03-3257-1701(代)
仙台営業所 仙台市青葉区中央4-8-17 ☎022-211-0701(代)